

令和4年度秋葉区 特色ある区づくり事業 持続可能なげんきな体！～12歳からのSDGs～結果報告

新潟市医師会や新潟薬科大学、区内の小学校・医療機関から協力を受け実施した結果をお知らせします。

1. 秋葉区の現状と課題

★特定健康診査（国保、後期高齢者、協会けんぽの受診）の結果から、秋葉区は市内で最も血糖の有所見者の割合が高く、受診者の約2人に1人は血糖が正常値を超えています。

★保護者や祖父母世代の健診受診率が低く、運動習慣のない人や夕食後の間食習慣がある人の割合が高いなど、好ましくない生活習慣がみられ子どもや孫世代に影響する可能性が考えられました。

★子どもの生活習慣を見直し保護者や祖父母の生活習慣改善につなげ、世帯での健康度をあげていく必要があるため事業を実施することとなりました。

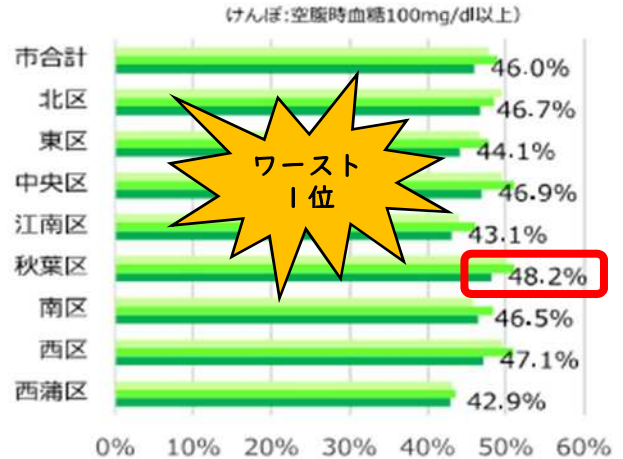
<健診受診率>

（グラフ記載の数値は平成30（2018）年を記載）
■ H28 ■ H29 ■ H30



<血糖値>

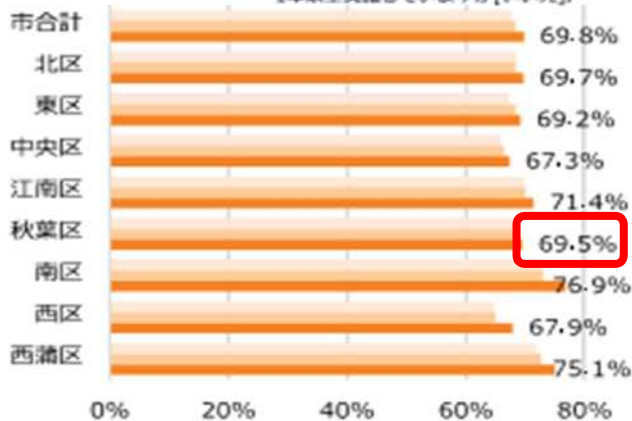
（H28 H29 H30 グラフ記載の数値は平成30（2018）年を記載）
血糖（国保・後期:HbA1c5.6%以上
けんぽ:空腹時血糖100mg/dl以上）



<運動習慣>

（H28 H29 H30 グラフ記載の数値は平成30（2018）年を記載）

運動習慣（1日30分以上軽く汗をかき運動を週2回以上、
1年以上実施していますか【はい】）



<食習慣>

食習慣（朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を
摂取していますか【はい】）

